

水産物の市況について(平成30年4月及び5月)

—東京都中央卸売市場における平成30年4月(平成30年3月21日～平成30年4月20日集計)の市況と、
平成30年5月の市況見通し(前月との比較)—

I 平成30年4月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は前月と比べやや増加し、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は前月と比べ横ばいに推移しました。

II 平成30年5月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は北上期に入り常磐～三陸で好調な水揚げが続くことから増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みと見込まれます。

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は新物のトキサケは若干増加するものの量的には少なく、チリギンを始めとする他のサケ類は横ばいと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量はやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みと見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量は前月と比べ生鮮は北陸で釣り物の水揚げが本格化することからやや増加、冷凍は横ばいと見込まれ、卸売価格は生鮮は弱含みと見込まれ、冷凍は横ばいに推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は前月と比べ盛漁期を迎えることからやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みと見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は春の需要期を過ぎたことから減少すると見込まれるものの、卸売価格はクロマグロとインドマグロはやや強含み、メバチマグロは横ばい、キハダマグロは入荷が多いことから弱含みと見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

入荷量は盛漁期に入ることから前月と比べ増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含むと見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み、横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	4月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
30年	38	1,045	33	1,069	40	1,047
前年	40	1,048	32	1,061	36	1,067

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

注2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	4月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	316	106	110	94
さけ・ます(平均)	991	101	97	128
(ぎんざけ塩蔵品)	1,007	100	97	127
(あきさけ塩蔵品)	753	100	109	144
(ときさけ塩蔵品)	1,085	100	110	136
(べにざけ塩蔵品)	1,244	100	118	130
(さけ類冷凍品)	949	100	93	128
さば(生鮮品)	355	70	84	88
するめいか(平均)	871	106	92	151
(生鮮品)	896	109	94	124
(冷凍品)	816	100	86	163
あじ(生鮮品)	581	87	94	91
まぐろ(冷凍品)	1,526	98	96	110
(めばち冷凍品)	1,150	101	98	118
(きはだ冷凍品)	960	95	102	111
(くろまぐろ冷凍品)	3,208	104	100	88
(みなみまぐろ冷凍品)	2,307	111	109	108
かつお(生鮮品)	866	117	116	103

注1:品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2:4月の価格は1~20日までの速報値を元に算出。平年とは平成25年~29年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 山崎、小山

直通 03-3591-5612